



人生・農業 リセット再出発!

RESET RESET RESET 新連載



黒木安馬

国際線航空会社乗務員・作家

即ち華果同時とは「今、生きていることこそが目的」であると言うことだ。虎は死んで皮を残し、人は死んで名を残す? そんな馬鹿な面白くも無い人生は糞食らえとばかりに、今を生きている人

「**華**果同時」という言葉がある。蓮の花は咲いていると同時に実をつける。他の植物は花が終わってから実をつける。死んで花実が咲くものか! であろうか。蓮の実は食用で、美味しい中華饅頭のアンコにもなり、仏の数珠にもなる。蓮根は食卓で日常見かける。仏様が蓮の台に座っているのも意味深長である。

はたくさんいる。新潟県佐渡島に住む小浜美晴さんもその一人だ。拙著の読者として手紙を頂いて以来の良き友人、私と同年代の男性である。西に造船用大型トラックの中古品があると聞けば、使うあても無いのにすぐにそれを買いに走り、瀬戸内海から日本海を経て延々と曳航してくる。それで海に浮かぶコンサートホールを作ると言う。それは台風であつけない沈んだ。東に人力車を手作りしている人がいると聞けば、直ぐに飛んで行き、自分でも実際に作ってみて佐渡島を走ってみる。北に水車があると聞けば、すぐに自作でもやってみる。南に美味しい米

1950年熊本県生まれ。高校在学中にAFS奨学生で米国留学後、早稲田大学を経て航空会社に入社。業界の常識を破る「カラオケ・フライト」を企画して計7便飛ばし、後に北島三郎らによる「世界初1万メートル上空機上コンサート」も実現させる。自宅は28歳の時に1300坪の土地を開墾して2年半がかりでプールを手作りし、テニスコート、コンサートホールも造る。自宅ステージでは加藤登紀子、山下洋輪、坂田明、尾崎紀世彦など多くのライブやピカソ展を企画し、地域活性化触発運動「グループ・ザ・田舎るちあ」を主宰している。多くの実体験に基づいた人生成功哲学の講演や著書は大手企業でも人気を博して乗務の間をぬって全国を飛び回っている。著書に「面白くなくっちゃ人生じゃない!」(KKロングセラーズ)、「出過ぎる杭は打ちにくい」(ワニブックス)、「リセット人生再起動マニュアル」(ワニブックス)、「小説・球磨川」(ワニブックス上下巻)がある。

があれば、それを徹底的に研究して行動に移る。ダンブカー数台分の良質土壌を山の上まで運び、水質から気象条件まで追求して米作りに精を出す。これは確かに美味しい! 今まで食べた中でも折り紙つきの天下一品である。本職は建設会社なのだが広大なプライベートビーチを有しているマリンスポーツ会社も興している。まさに東奔西走南船北馬。決してナンバーワンを目指しているのではない。疲れる他人との競争ではなく、自己実現である「オンリーワン」を生きているのである。彼は言う、「面白くなくちゃ、人生じゃない!」と。生き生きと行動する者にとって反省や後悔は不似合いだ。いつも少年のような心と瞳に夢を抱き、それをひたすらその日のうちに実行に移す。今日できないことは十年経ってもやらない。そういう人たちと話をしていると明け方まで酒が美味い。

エネルギーは思考から生まれてくる。思考は感情を、感情は肉体の反応をそのまま生み出す。「しかし」の否定的思考は感情も否定的になり疲労も倍加する。素直な「なるほど」や、「だからダメなんだ」から「だからこそ」への積極的可能性思考は、はたから見ても気持ちが良い。人生に成功している人は知能指数や学歴の程度が高いのではなく「精神的態度指数」が高いのである。

人生をハスに構えた一連托生で、可もなく不可もなく、日暮れ腹減る糞して寝る、で一生を終えるか? 誰の人生、それはあなたが決めることなのだ。